

令和4年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和4年5月25日（水曜日） 10時から12時まで

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、WEB上での意見交換による開催）

出席者 佐藤委員、蛭川委員、藤田委員、高江洲委員、杉田委員、神作委員、中村委員、中島委員、花形委員、安井委員、北川委員

傍聴 2名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長外川 外4名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">・資料確認次第資料1 令和4年度東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿資料2 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱資料3 令和4年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案）資料4 令和4年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案）資料5 令和4年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び活動計画案について資料6 私たちが目指す相談支援専門員の姿Ver. 7参考資料1 令和3年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告参考資料2 令和3年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告参考資料3 相談支援従事者等研修における実習等への協力について（依頼）参考資料4 大阪府相談支援専門員人材育成ビジョン・本日の検討会は、記録のため速記の方が参加をし、録音をすること、傍聴者がいることについてもご了解いただきたい。・資料の公開について、検討会設置要綱資料の2の7の規定により、議事録及び資料は公開することになっているが、本日の出席委員の議決により、非公開ということもできる。公開の場合、東京都心身障害者福祉センターのホームページで掲載する。
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none">・事務局を代表して、お忙しい中、委員の委嘱についてご内諾いただき、感謝申し上げます。・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にあっても、研修が確実に進行できるよう、そして、何よりも受講者が安全に安心しての参加、受講ができるように令和4年度の研修は講義、演習共にインターネットを活用したオンラインでの実施となる。・相談支援従事者研修は、地域の相談支援体制を確保するために不可欠な研修で
--------	---

	<p>ある。今年度は特に初任者研修、現任研修、主任研修など、それぞれの研修がつながりのあるものとなっていくよう、是非、検討委員の皆様にご議論いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の研修制度の見直しにより、国からは身近な地域と研修が連動し、人材育成を行うイメージが示されている。区市町村と身近な地域と連携した研修の実施に向けたご意見などもいただきたい。 検討委員の皆様の活発な議論を踏まえ、研修が実りのあるものにできるよう、ご理解、ご協力をお願いしたい。
--	---

3 委員紹介（自己紹介）

各委員	(省略)
-----	------

4 検討事項

(1) 委員長・副委員長選出

安井委員	・昨年度に引き続き、法政大学の佐藤教授を推薦する。
各委員	・承認する。
佐藤委員長	・今年度も良い検討会の中身を作り、研修に反映できるような形にしていきたい。よろしく願い申し上げます。
事務局	・副委員長については、委員長から指名していただきたい。
佐藤委員長	・私から3名の副委員長を推薦したい。蛭川委員、藤田委員、中村委員にお願いしたい。
蛭川委員	・うまくできるか、甚だ心配だが、ほかの委員の皆様にご助けをいただきながら、やっていきたい。
藤田委員	・大役をいただき、皆様の安心に値する活動ができるかどうか分からないが、精いっぱいやらせていただきたい。
中村委員	・皆様から色々なお知恵や、学ばせていただきながら、やっていけたらと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 3名の方、副委員長をこれよりお願い申し上げます。 先の進行は、佐藤委員長にお願いする。

(2) 年間研修実施計画について

佐藤委員長	・年間研修実施計画と、2か月の間の動きについて、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<p>(昨年度からの引継ぎ事項について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引継ぎ事項1の全ての研修を俯瞰した各研修の連動性と内容の整理については、令和4年度の研修は令和3年度までに作成したプログラムや教材をベースに実施することとし、研修別に研修づくりをするのではなく、全体を俯瞰した検討をし、令和5年度以降の研修に反映させる。 令和4年度の研修内容は、検討会委員以外の研修のメインファシリテーターの

	<p>方と事務局とで調整をしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎ事項の2地域実習を支える仕組みづくりについては、地域での実習の様子を把握して、地域にフィードバックするような仕組みをつくっていききたい。 ・引継ぎ事項3の研修に携わる人材の育成と確保について、人材不足や演習指導者の学ぶ機会の不足、研修協力者の負担の増大、地域実習の格差などの課題がある。 <p>(令和4年度の研修実施計画及び実施状況の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修について、定員500名。演習指導者養成研修は、初任者研修にかぶせる形で定員20名、いずれも9月から翌年1月にかけての実施となる。 ・現任研修について、定員900名、6月から8月にかけて実施となる。 ・主任研修について、定員100名、2月に実施となる。 ・国の指導者養成研修は6月末と3月に実施予定である。東京都からの参加者については検討会委員の方で今後も研修づくりに関わっていただける方を事務局から推薦する予定 <p>(研修準備状況の報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉田委員、中島委員の協力を得ながら5月10日に区市町村窓口職員向けの説明会を実施した。研修の目的や実施のねらいの理解を深めていくことを目的として、事務局からの説明だけでなく、グループにわかれての意見交換の場を設け、現場からの声を共有することができた。 ・ファシリテーターの調整について、初任者研修、現任研修共に100名以上のファシリテーターが必要で調整をしているところ ・現任研修については令和3年度の検討チームの皆様の協力ではほぼ準備は進んでいる状況である。 ・初任者研修は、講義は令和3年度の講師に内容確認と再撮影をお願いする予定。演習は、昨年度の検討チームの引継ぎ事項として、演習ノートへの追加やサポーター動画の更新、昨年度の振り返りにあがった意見を反映させるなどの微調整に事務局で取り組む予定である。 ・初任者研修の講義部分はサービス管理責任者と児童発達支援管理責任者の基礎研修の一部になっており、第1回基礎研修の準備が既に始まっているため講義教材は令和3年度のをそのまま使用する。 ・演習指導者養成研修は、企画体制は3年かけて、次の体制にうつるという計画で今年度は2年目になる。 ・専門コース別研修については昨年度のプログラムを今年度も実施する。意思決定支援をテーマとした研修で好評であり、まだ、受講していない相談支援専門員の方に受講をしていただけるように準備をする。 ・主任研修については昨年度の教材を使用し、昨年度の講師の方々と実施する。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎ事項と、この間の研修その他、区市町村説明会などの動きについてご説明をいただいた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎ事項の後半のほうに関わってくるが、昨年度は、この検討会のメンバーの体制を変更する前提があり、その前提となるのがこの引継ぎ事項に関係をしているところもあるので、皆様からお気づきの点や分からないということがあったら、質問を頂戴できればと思っている。 ・また、区市町村の説明会の雰囲気については、講師をご担当された杉田委員と中島委員に感触なども共有をしていただけたら、次年度の方向性に向けてやり方や、今年度の実習体制について共有できる部分があるかと思うので、ご意見を頂戴できたらと思う。
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の検討委員の人たちの願いだっただ区市町村へちゃんと説明するという機会を初めて持つことができ、それ自体がすごく大きな成果だと思う。その中で、こちらが一方的にあれしてこれしてということで押しつけるのではなく、こうしてほしいということは言いながらも、それぞれの区市町村で考えてほしいということで伝え、グループワークをすることで、自分のところの事情、近隣の事情等を知ることができて、区市町村にとっても、これからやっていかなきゃいけないんだという気持ちになっていただけたかなと思う。 ・ただ、主任相談支援専門員や研修に関わった方たちに、地域実習の受皿として協力していただくのに、報酬というか、お金の面での何も保障がない中で、それを無理やり進めることはできないよねという意見も多くて、これからの課題だなというふうに思った。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬面は、きちんとやっていただくためには必要な部分だと思う。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村説明会を実施して皆様の声が聞けたことはすごく良かったと思うし、チームからの意見を吸い上げて形にさせていただいた事務局や、忙しい中参加していただいた区市町村の担当者の方には、本当に感謝したいと思う。 ・区市町村説明会に参加された自治体の多くは、今年度から初めての担当者であって、十分に引継ぎができていないと思われるようなグループワークでの意見も聞かれた。そうしたことからすると、自治体の入れ替わりを前提とした今後の研修の周知や、内容についても検討していく必要があると考えた。 ・また、参加された自治体の中には人口規模の小さな自治体もあって、相談支援専門員の研修の参加者自体が、ここ数年いない自治体もあり、私自身はすごく驚いたところ。こうしたことから、東京都というと比較的大きな自治体というところで物事を考えたり、研修の仕組みを考えることが多いが、小さな自治体も含めた東京都の在り方、研修づくりの在り方というのは、併せてこの検討会でも検討していく必要があると考えた。 ・グループワークの中では相談支援員の研修の説明会でありながらも、そもそもの協議会の在り方や、会議の開催有無や公開範囲、また実施回数が非常に少ないといったことで、研修で学ぶべき内容と現状のずれだったりということが、グループワークの中での意見として出てきたときに、地域実習と地域の相談支援体制の関係がすごく深いということを改めて認識した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・踏み込んで言えば、東京都の相談支援従事者研修検討会と、東京都の相談支援体制整備の在り方を検討する場のつながりができていなかったり、相談支援体制を検討する場がどこなのかというのが、私自身にもまだよく分からない部分があるので、そういった意味では、東京都の相談支援体制の在り方を検討する場と、この研修の検討会がリンクしていく必要を強く感じた。 ・最後になるが、今後は官民協働でこうした検討会もそうだし、地域の相談支援体制を考えていくことで主任相談支援専門員と行政の方が一緒になり、地域の人材育成を担っていくところからすると、今年度は区市町村の職員の方を対象としたけれど、この検討会の中でも官民協働の地域づくりに形づけられるような参加の在り方も、今後は検討していく必要を感じたところ。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に貴重な機会の、リアルな感じが伝わってきた。確かに障害領域における相談支援体制と人材の育成の部分がリンクしていかないと、この領域はなかなか発展しづらい部分でもある。検討会で皆様のお知恵を頂戴しながら、また地元の事情も含めて、この検討会の委員の皆様は区部から、市部から出ている方がいるので、ご意見を頂戴できればと思う。 ・中島委員、杉田委員以外にも、ご意見を頂戴できたらと思うが、いかがか。
中村副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年担当になったばかりで引継ぎもままならない状況で参加してくれた職員もいる中で、説明会において伝えなかったことの伝わり具合や、どんな印象で終わったか聞きたい。 ・なぜかという、私の区では、研修の在り方について区の職員と話し合いをしたことがなく、2年くらい前に「研修を区のほうでもやっていたらいいんじゃないかね」といった質問が1回飛んできただけで、区でも迷っているのではないかと思ったため。
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・右も左も分からない中、区市町村説明会を受けて、「ああ、こんな感じ」と思われたところもあるし、去年、担当になったので、自ら初任者研修を受けてみたというような行政もあった。一概にはくれないかと思う。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の質に話が及ぶグループワークもあった。「こんな相談支援専門員がうちの自治体にいるけど、ちょっと変だよ」と言うと、違う自治体の参加者が、「うちの相談支援専門員は動き過ぎちゃって、すごく大変なんじゃないか、運営も圧迫しているのではないか」というような、研修だけではなく、本当に幅が広い意見があった。 ・また、グループワークで隣の自治体はどうやっているのかをととても気にされていて情報が少ないというところからすると、横のつながりをつくるという意味もあったのかという感想を持った。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・迷いながら取り組まれているというが、こちらとしても分かった。私たちにフォローできるとしたら何があるのかということ、今年度、探っていければと思う。

花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村説明会の資料の公開はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村に対しては、説明会に参加していない区市町村も資料を見られるように、区市町村用のファイル転送サービスに公開した。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村説明会については、今年度初めて実施できたということ、経過を見守っていくということで、皆様のお知恵をまた拝借できればと思っている。 ・年間研修実施計画については資料4のとおりとなるが、ご了承いただけるか。
各委員	(了承)
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、資料5、検討事項の(3)年間活動方針及び活動計画案について、事務局案をご説明いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度検討会の引継ぎ事項3点のテーマで検討チームを立てさせていただいた。検討会は年4回なので、検討チームで話し合いをした結果について次の検討会で意見をもらってというイメージを持っている。 ・チーム編成については、これまでの委員の皆様の経験や、新しく委員になられた方とのバランスを考慮したが、あくまでも事務局案になるので、本日議論をしていただけたらと思っている。 ・年度末の成果物のイメージだが、研修の連動性と内容の整理チームは、資料6の専門員の姿への落とし込みと、共通で使用するツールや事例の作成をイメージしている。地域実習のチームについては、区市町村にフィードバックできる、例えば事例集の作成。人材育成と確保のチームについては、研修の内容の整理のチーム同様、専門員の姿をVer. 8にすることをイメージした。 ・参考資料4の大阪府相談支援専門員人材育成ビジョンは、専門員の姿をまとめるときの参考になればと思って添付した。 ・下段の各研修メインファシリテーターの表は、内容が空欄になっている。研修を回すには、研修の教材を作ることと当日の進行の役割があるかと思う。昨年度までは受講者数の多い初任者と現任研修を回すのは検討会委員と協力者の皆様が担っており負担がとても大きいという課題があった。 ・そこで、今年度は、教材を作るところは研修検討会委員ではないメインファシリテーターの方をお願いをして、検討会委員の皆様には検討会の検討事項に集中をしていただきたいと思いますと考えた。 ・実際に行われている研修の内容を検討会委員の方が吸い上げることも必要かと考えている。そこで事務局としては、研修の連動性と内容の整理をするチームの皆様に研修の橋渡しの役割をするようなところもお願いできないかなと思っているが、うまく事務局案としてまとめ切れず、空欄の状態になっている。 ・次のページは、年間の活動計画案。本日の話し合いの結果をチーム活動の内容のところに、まとめられたらと思っている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5を見ていただくと、令和3年度の検討体制チーム構成が書かれており、その名称が研修ごとになっていたわけだが、今年度に関しては、全体を俯瞰した各研修の連動性と内容の整理について検討するチームが1つ目。引継ぎ事項

	<p>の2番目として地域実習を支える仕組み作りについて考える検討チームが2つ目。引継ぎ事項3番目の研修に携わる人材の育成と確保について、3つ目のところで検討させていただくことにしたい。事務局の案なので、委員の皆様からご意見を頂戴できたらと思っている。</p>
藤田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・私は地域実習のところに配置されているので、どういうふうにすればと考えている。 ・今年度の5月の段階で杉田委員と中島委員が区市町村説明会で説明をしてくださり、現場の声をよく聞いていただいたこともあるなどと思いつつ、研修の連動性という意味で、お二人の力はこちらにも当然必要になってくると思いつつ、誰がどこになど、やり始めてみないと分からないというのが正直なところ。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修でやっているものが、どう連動してくるのかというのを、この地域実習で考えるのに少しハードルはあるのかなと思う。 ・藤田委員はこの間のご意見でも、市の方ともコミュニケーションを取られているかと思ったので、そういったところも参考に、取りまとめを是非お願いしたい。藤田委員の不安は私が受け止めたい。
藤田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修の橋渡しという言葉が頭に残ったが、どういうタイミングのどんな橋渡しが役割になるのか、もう少し説明していただけたらと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のイメージなので、この通りにやってもらいたいということではないが令和5年度からの研修に使えるものを検討するに当たっては、今年の研修がどうだったかというところを、適宜吸い上げた方がいいのではないかと考えている。 ・タイミングとしては、委員の皆様も各研修のメインファシリテーターやファシリテーターになっていただいているので、そこで得たものを持ち寄って議論していただく。こういった意味での橋渡しをイメージしていた。 ・他のやり方があれば、ご意見いただけたらと思う。
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修の教材のチェックや説明会での説明など、研修を作り上げていくことに集中した去年のような作業は行わないで、メインファシリテーターやファシリテーターとして、説明会に参加したりして得た経験を検討会に反映させるというイメージで大丈夫か。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいかと思う。恐らく、去年まで検討会の委員の皆様が非常に大きくなってしまっていた部分があったので、少し負担を減らしていくという形で、もう少し全体像を見渡す役割にシフトしていくような感じになるかと思うところ。
中村副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の活動報告の現状と課題としてまとめられた3つの柱が各研修の中で、どうつながり、どう生かされて形づけられていくのが大事。そこに取組みたい。
高江洲委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は今回、初めてなので、頭がぐるぐると回っている。私の勝手なイメージと

	<p>してだが、ラーメンに例えると、今まではみそラーメン、しょうゆラーメン、とんこつラーメンについて検討してきた。今年度は、麺やスープや具材を検討して新たなラーメンを作るイメージを持った。イメージとしてこのような感じでいかがか。</p>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・完璧な例えだと思う。 ・各検討チームの皆様が、麺をどうしていくのか、味をどうしていくのか、具材をどうしていくのかということ今年度はかなり細かく見ていただくことが、連動性につながっていくことだと思う。 ・各研修の細かい部分は、今までかなり時間をかけて検討してきた、ようやく区市町村説明会という場でつながり、さらにより一層連動性を強めていくという中で、今年度は体制を新たにしていきたい。
神作委員	<ul style="list-style-type: none"> ・去年までファシリテーターとして、地域実習で拠点機関の受け入れをした立場で、東京都の地域実習を行うにあたって、区や拠点機関がどう理解してやっていくか試行錯誤しながら2年間実施してきた。検討委員として、地域実習を支える仕組みづくりを検討できることはありがたい。 ・検討チームの検討体制は、昨年と変更した部分がどのような形で進んでいくのかというイメージができていないわけではないが、全体を見渡す必要がある、その役割が検討委員なんだということは感じていたので、それができればと思う。 ・研修自体もしっかりやらなければいけないので、ある程度分散化が図れるような形にでき、その分散化したものを全体で見渡すことを検討委員が行っていく構図がうまくできるとよい。
安井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、検討委員の方の様子を見ていると非常に大変で、これを続けていけるのかと正直思っていたので、今年度、整理したのは、すごくよかったと思う。 ・地域実習についてはとても気になる。東京都内でも格差はできていて、あまりにも差が広がっていくと、ある程度ベースをそろえていくべきだと思っている。長い目で見たときに地域で支える仕組みは大事だと思うので、是非ここで一緒に検討できたらと思う。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会委員の皆様には、非常に多忙な中でいろいろな作業を担っていただいた部分を随分と整理していただいたので、このような形で今年度は展開できると私も良いと思う。 ・また、地域実習については、島しょ部はどうなっているんだろうとすごく気になっていた部分である。見えないところもあり、まさに地域格差にならないような形で、どういうふうに格差を少しでも縮めていけるのかという部分について、今年度は検討していきたい。
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この3つの柱は大事だと思った。今年度、この3つの柱を取り組むことによって、次につながる未来が見えてくる感じがする。 ・私は東京都の相談支援専門員の姿Ver. 7を「これでやる事が終わった」と思うくらい力を注いで皆様と一緒に作成してきたので、思い入れが強い。い

	<p>よいよVer. 8にバージョンアップをしなければいけない時期が来たということで、携われることをうれしく思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの中にと、東京都の課題というのが浮き彫りになってくる。 ・基幹相談支援センターができた背景としては、相談支援の質の向上が大きな目的であり、質の向上ということは人材育成につながっているということ。 ・そのために主任相談支援専門員という新たな役割ができたが、基幹相談支援センターに配置されている主任相談支援専門員は少なく、事業所にいる主任相談支援専門員の方が非常に多い。 ・東京都の主任相談支援専門員はおそらく180人くらいだが、全員がファシリテーターや演習指導者養成研修に参加して下さって研修に携わっていただければ、ファシリテーターを探すことがなくなる。 ・なぜそうなっていかないかという、東京都の主任相談支援専門員の役割が見えていない、自分たちは事業所の中で相談支援専門員として個別に当たっていればよいと思っているところに、大きな要因があると思っている。 ・主任相談支援専門員の研修でも、基幹相談支援センターと、事業所にいる主任相談支援専門員の協働の在り方をお話させていただいた。東京都ならではの主任相談支援専門員の在り方を主任研修の中でしっかり伝えていく。動機づけをしっかりとしていくことで、主任相談支援専門員として東京都の中で活動していかなければいけないんだという礎を作っていくことが大事 ・Ver. 8にアップするということから人材育成と確保につながっていくのではないかと考えている。これが明確化されることによって、言語化されて、主任相談支援専門員の動機づけにつながり、東京都の研修自体の人材育成の向上が図られていくと考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・主任相談支援専門員の役割の明確化を我々は意識していかなければいけないというがよく分かった。 ・今年度は、資料6のVer. 7をVer. 8に引き上げていくことをどこの部分で引き上げていくのか分かりやすく丁寧に作り上げたい。 ・1枚にまとめ上げるのも難しくなっている。大阪の参考資料を入れさせていただいたが、こういった形も一つ、作り方としてはあるのではないかとすることで東京都の方からご提案をいただいた。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、課題を整理してきた中での3本柱なので必要であるし、よいと思う。地域実習のところを、一生懸命考えていきたい。 ・地域格差をなるべく少なくできるようなツールを工夫したい。また、主任相談支援専門員の在り方が整理できるとよいと思う。 ・今年度は、どのチームもボリュームが大きいので、この検討会の中では報告とし、各チームで進んでいくことになるかと思う。相談支援従事者研修検討会は年4回なので、第2回検討会が8月にプロットされているが、第2回検討会

	<p>から進捗を共有し、第4回目の3月の検討会のときには、成果を出すようなイメージでよいか。年間活動計画を共通認識にできるとよい。</p>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会は4回しかない。3月のところで何らかの方向性が出せるような形で、チーム内で進めいただくということになる。よろしく願いたい。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は研修内容の整理のチームになるが、まだ作ったばかりで、役割ややるべきことが少しぼやけている部分があるなど思いつつ、高江洲さんのラーメンの話でそうだなと思ったり、区市町村説明会に出席し、地域実習についても気になって関心がある。 ・相談支援専門員の姿の図の下、東京都の研修のしくみの部分は、私たちのチームでも関わっていくのかと思うと、各検討チームで運動していく必要があり、年4回の検討会だけではなかなか整合性が取れない部分があると思う。 ・全体のメーリングリストで「今日はこのチームの検討がある」という形で、傍聴できたり、参加できる人がつながり合ってサポートできる仕組みがあるとよい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに「今日出られます」みたいなことを言えると、メーリングリストはそういうことに活用できるツールかなと思うので、運用ができればと思う。
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんから話していただいたように、この3つの検討チームはそれぞれが全く別なものではなく、行き着く先は一緒みたいな感覚を持っている。 ・相乗りし合うというか、情報は常に全員が、全体のチームの状況が分かるようにするということは必要と思う。もしかしたらどこかで合流したり、同じチームの中でも分かれたりということも、もしかしたら出てくるのかと思った。 ・3月の成果物というところでは、相談支援専門員の姿も一緒になって、全部が一緒になって作っていくみたいなのところもあるかと思う。研修の中に地域実習もあるし、それを支える仕組みもそこにはもちろん入っていかなくてはいけないので、取りあえずスタート、分かれての検討になるけれども、その都度いろいろ考えて、意見を出し合っていけたらいいと思う。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討体制チーム案については皆様ご賛同いただけただけということで、この体制で今年度は進めさせていただきたい。 ・資料5の年間活動計画案に示されていないフォローアップ研修を花形委員が進めているので、ご説明いただきたい。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ研修は、令和3年度活動報告でたくさんの課題が挙がっていたところから発展したもの。 ・これまでの研修の課題の一つとして、初任者研修のファシリテーターにはファシリテーションを学ぶ機会があったが、現任研修のファシリテーターは、ファシリテーションを学ぶ機会が設けられていなかった。今年度の現任研修、ファシリテーター説明会が3日間実施されているが、そこと別建てで、今回初めて6月21日に現任のファシリテーター向けのファシリテーション部分の講義を新たに行うこととなった。対象者は、今年度初めて現任研修のファシリテータ

	一をする者及びファシリテーター経験者で興味関心がある者も含めて参加可能とした。6月21日の午後、半日を予定している。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今年度もファシリテーターを探すのがなかなか大変で、色々な方にご参加いただきたいという部分もありますし、現任研修のところでも強化をしていくことも含めて展開をしていただいている。次回の検討会でご報告等を頂戴できたら非常にありがたい。 補足をいただいたが、年間活動計画案には、こちらの内容も組み込まれて展開をしていくということによろしいか。
各委員	(了承)

(4) その他

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 続いて、検討事項の(4)その他について事務局からお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 一つ戻ってしまうが、先ほど決まったチームの活動スケジュールについてご意見をいただきたい。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> チーム編成が新しくなるので、各チームに分かれたときに、もう少し具体的にイメージが湧くような、今まで話されてきたこと等をまず共有することと、地域実習に関しては5月10日の区市町村説明会の資料の確認をし、どんな意見があったかとを具体的に聞くことも、材料として役に立つと思っている。 そのあたりを共有してから課題をあげていくイメージかと考えた。
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> 各研修をばらばらに見るのではなく、全体を通して一つの人材育成の研修として俯瞰して見るところなので、このチームのメンバーが、まずは意識を共有する時間を持ちたい。 どうつなげていくかというよりも、今既につながっていて、重なっている部分が結構あったりするので、その辺りを確認し、全体を通してより効果的な研修になるよう、ツールや使う事例についてざっくりばらんにまず話していった上で、整理していきたい。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> 私もまずは課題の整理かと思っている。 それぞれの研修がつながっているところもあるけど、どこに詰まり具合があるのか、ここの部分をもう少し通すと連動できるかといったことを含めて、課題出しとざっくりばらんに話す辺りからまず進めたい。 次回の8月には、今年度はこんなところを重点的にやっていこうかなという提案できると良いと思った。
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 副委員長に指名していただいたが、全体の研修を俯瞰というときに、私は主任研修まで追いついていない。初任者研修が理解でき、現任研修は半ばぐらいの状態 主任研修の理解をしないと、そもそもゴールにというか、何を検討したらいいのかという状態なので、まずはこのチームでは研修の内容等を理解できる、学べる、教えてもらえる場、ベースを作る機会をいただきたい。

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことだと思う。初任者研修、現任研修、主任研修、そして演習指導者研修全てをわかっている前提で進んでしまう可能性があるが、改めて各研修で何をキーにしているかを確認するのも、このチーム編成の意図 ・それぞれの研修内容を相互に理解し合うところからスタートをすることが、恐らく主任研修や現任研修の受講者の理解、検討会のことだけではなくて、全体に広がっていく部分かと思う。
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・去年のチームでは協力者の方々が入っていただいたが、今年度はチームに協力者を入れても良いのか。 ・協力者として関わることは、将来、検討会委員になってほしい人材の一段階目の機会としても大事で有効と思っていた。 ・報酬がない課題はあるが、検討会の委員を回していくに当たって、次の方を探して、入ってきてほしいときのルートが気になっている。 ・直接の検討内容とは関係ないかもしれないが、そういった道筋も見据えながら取り組めると良いかと、個人的には思っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から補足をさせていただくと、昨年度の協力者が担っていた教材チェックや説明会へのご協力を研修のメインファシリテーターにお願いするイメージだった。
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者としてこの検討会に参加をしている身としては、当事者をきちんと検討会に送り続けて、当事者の参画を維持することも、自分たちが参加している意味としてあると思う。 ・検討会にポンと飛び込むことのハードルの高さを私自身も経験してきたので、検討会の成り立ちや、どんな役割があるのかというのを、これから入ってもいいよという人たちに負担のない形で何かあったら良いと思っている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年大きく、チーム制を変える新しい取組になっているので、何をどうやっていくのか、まだ分からない部分もある中で、まずは、このチームは何をする役割なのかを認識するステップから始まるのかということ。 ・そこをもって協力者の方という話になろうかと思うので、少し時間をかけながら次世代の方たちにどうバトンを渡していくのかを考えられたらと思う。
高江洲委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修の連動性と内容の整理のところの各研修というのは、初任者研修、演習指導者研修、現任研修、専門コース別研修、主任研修の5つで良いか。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・良い。
高江洲委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現任研修と初任者研修しか協力したことがないので、まず全体の目的とか、連携の仕方というのを聞きたい。 ・次回の検討会まで、多分、個々で話し合うと思うが、日程調整や話合いの方法は、どの段階でどういう形で決まるのか、また、話し合いには事務局が入るのかどうかを教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで話をするときには、基本は入るようにはしていた。さらに検討するといったときに、自主的に集まっていたこともあった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・日程調整は、チームごとにミーリングリストがあったので、そこで投げかけをしていただいていた。 ・今年度は、全体で情報を共有したほうがいいというお話だったので、全体会のミーリングリストの中で日程調整ができればと思っている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成と確保のチームはいかがか。 ・私としては、Ver. 7の資料のステップのところが変わってくるのかと思っている。補足等で何かあれば。
中村副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど、これからの人材育成に関わる場所の言語化をしていくことと北川さんから言葉があったのを聞いてわくわくした。 ・大要ができるのが11月で、3月には言語化という大きなイメージか。 ・人材育成には2点あって、一つは相談支援専門員の質自体の部分の育成と、もう一つは検討会や様々なファシリテーターなどにもつながる、人を育成していくための人の育成の確保の部分の育成の部分が大きく2点あるかと思った。 ・検討会に協力者がいたらというイメージの中では、初任者研修や現任研修のファシリテーターに参加していくところから、主任研修の講師に至るところの育成の検討にも役割があるのかと思ったりもした。 ・質の確保は初任者研修の段階から始まっているという意味では、他のチームとの意見をすり合わせながら作れたらと思う。 ・8月までに1回整理をして、深めたい。
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ部あり、多摩地域あり、区部あり、市部ありとはいえ、やっぱり目指すところは一つになっていく必要があり、モデルを示していくことが東京都だからこそあるのではないか。 ・主任相談支援専門員の役割をランダムに挙げていって、主任の役割が見えてくると、おのずと現任、初任の人材育成が見えてくる。 ・東京都の中の主任相談支援専門員の役割も明確化して出せるようになっていくと、意味あるVer. 8になって、ファシリテーター役を意識できるようになっていくということを私は思い描いている。 ・無理せずに、8月までは主任相談支援専門員の役割や、中村委員の発言も含めて、一緒に考えいきたい。 ・少し違う話になるが、基幹相談支援センターのアドバイザー事業が来年度から始まるらしいということもあり、基幹相談支援センターの役割もやはり明確化していかななくてはいけないということで、私的なワーキングをやっている。東京都ならではというのを今一生懸命まとめているので、何か材料にさせていただけたらということを考えて。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回までは、どこのチームもいろいろな形で意見を出し合って、共有し合うという部分をやっていただいた上で、焦点、課題を絞っていくことかと思う。 ・何とぞご協力のほど、よろしく願いたい。 ・検討会の資料の公開については、出席委員の意見により決めることができるが、

	今年度も議事録と配付資料を東京都心身障害者福祉センターのホームページに公開する取扱いとしたいが、いかがか。
各委員	(了承)

6 閉会

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の検討事項を終えることができたので、進行を事務局に戻したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会前に事務連絡をさせていただきたい。議事録は公開前にメールリストで内容の確認を依頼する。 ・第2回の検討会は8月を予定していたが、現任研修が立て込んでいるため、7月下旬も含めて日程の調整をさせていただく。